

# ICTを活用した効果的な学習活動の充実を目指して

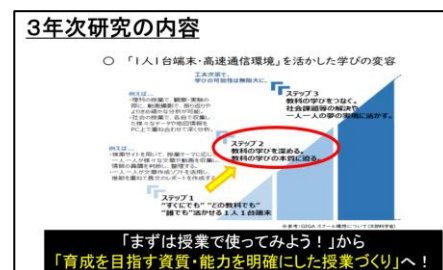
北海道室蘭養護学校 学級数 32 (校長 星野 健史)

## □ 実践の概要

「ICTを活用した効果的な学習活動の充実を目指して」という研究主題に基づき、令和3年度から校内研究に取り組んでいる。今年度は、前年度までの課題を踏まえ、単元をとおして、ICTを活用する意図や育成を目指す資質・能力を明確にした授業づくりを行い、児童生徒の学びの質を高めることを重点に取り組んだ。

### 1 実践の目的

主体的・対話的で深い学びを実現し、児童生徒の学びの質を高めるため、単元をとおして、育成を目指す資質・能力を明確にした授業づくりを目的とする。



【校内研修 説明資料】

### 2 実践内容

#### (1) 実施計画

研究推進計画を作成し、全体研修会において研究の趣旨について共通理解を図った。「研修日」を毎月設定し、各学年で授業づくりや授業反省を行う時間に充てた。また、教職員の知識や理解を深めることを目的とした外部講師講演会を計画し、本校の授業実践への助言を受け、授業改善に生かす取組を実施した。

#### (2) 取組の具体

##### ① 目指す資質・能力を明確にした授業づくり

授業づくりの流れやICT活用の要点を共通理解するため、教員間で協働しながら単元計画及び指導略案の作成と検討を行った。単元計画には、「ICTを活用する意図」として、「教育の情報化に関する手引（令和元年12月）」に示された特別支援学校におけるICT活用の視点である「教科指導の効果を高める」「情報活用能力の育成を図る」「障がいによる学習上又は生活上の困難さを改善・克服する」の3つの項目を取り入れた。情報活用能力の視点としては、北海道教育庁ICT教育推進局ICT教育推進課の「学習活動の視点から見た情報活用能力一覧（参考例）」及び熊本大学附属特別支援学校令和2年度研究報告（研究発表会公開版）に示されている「情報活用能力の前段階（ステップ0）」を学習集団の実態に応じて参考にした。また、教師は、授業実施後に単元及び個別の評価を行い、授業改善を図った。

##### ② 校内公開授業、反省会の実施

各研究グループにおいて1学期と2学期に公開授業を行った。「児童生徒の学びの姿を見取る」ことを重点に、授業参観や反省会を実施した。なお、反省のまとめは、短時間でより多くの意見を交流できるよう、クラウドで共同編集をしながら進めた。



【公開授業反省会の様子】

##### ③ ICTを活用した授業・活動などの実践例の交流

公開授業以外の各学年の実践について、ICTを活用した意図や成果、活用の様子等について記載した研究部便りを発行した。

#### (3) 取組後の点検・評価、工夫改善

- 各研究グループでの授業の評価や反省に加え、第三者の視点を取り入れるために他グループの教員を交えた反省会で課題となった、「ICTの活用が目的となっている」などの課題を解決するための工夫改善を行うこととした。
- 北海道立特別支援教育センターに研修支援を依頼し、助言を受ける場を設定した。

#### (4) 改善後の取組

- 公開授業の反省を生かし、単元全体のまとめやつながりを意識し、有効に活用できる場面に、適切な時間配分で「目標達成のための手段としてICTを活用する」ことを目指した授業改善を行う必要性について、学校全体で共通理解することができた。

### 3 実践のポイント

- 単元計画の作成を中心とした授業検討を行うことで、教員の授業づくりへの意識が変わり、各教科等の目標や内容を踏まえ、単元の流れを意識した授業づくりが行われるようになった。
- 育成を目指す資質・能力やICT活用の意図の明確化を心掛けたことで、ICTの授業への取り入れ方が精選された。日々の実践に結び付く研修内容に組織的に取り組むことが、児童生徒が思考力・判断力・表現力を発揮しながらICTを活用する授業や児童生徒自身がICT活用の良さを感じることができる授業づくりへとつながることができた。